

関係者分析ワークショップ資料（関係者分析カード整理表）（その1-1/2）

中央政府の政策機関				
関係機関・関係者	国家企画庁 (Departamento Nacional de Planeación: DNP)	国家森林開発計画 (Gerencia del Plan Nacional de Desarrollo Forestal: PNDF)	環境・住宅・国土開発省 (Ministerio de Ambiente, Vivienda y Desarrollo Territorial: MAVDT)	農業・農村開発省 (Ministerio de Agricultura y Desarrollo Rural: MADR)
天然林との主な関係者	森林セクターの政策策定への参加 <sup>1)</sup>	長期的国家森林政策の推進	政策および法規 <sup>2)</sup>	政策および林業生産振興 <sup>3)</sup>
必要としている研修テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 天然林の保全および商業化のための計画および関連業務</li> <li>- 森林の管理・利用に関する政策策定手法</li> <li>- 天然林の保全および利用を推進するためのメカニズム</li> <li>- 天然林の利用および管理に関する政策の影響の検証手法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 長期的計画（関係機関との調整）</li> <li>- ツールの開発               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 森林情報システム</li> <li>2. 森林セクターの連携</li> <li>3. 森林に関する知識</li> </ol> </li> <li>- 森林文化（森林教育）</li> <li>- 森林認証</li> <li>- 森林計画の実施およびモニタリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 森林計画、森林管理、森林保全の実施・評価</li> <li>- 森林行政の組織および業務能力</li> <li>- 持続的森林管理に対するインセンティブ</li> <li>- 天然林および人工林の計画、実施、更新</li> <li>- 森林の利用に関する紛争の解決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 森林の持続的管理および利用のための適切な技術</li> <li>- 木材および他の林産物供給のための天然林地域の特定および管理</li> <li>- 農業生産および非木質系林産物（樹脂、タンニン、樹液、薬用植物等）による森林生産物の多様化</li> <li>- 森林の持続的管理活動のモニタリングおよび実施技術</li> </ul>
	-	-	-	-
	-	-	-	-
	-	-	-	-
	-	-	-	-
	-	-	-	-
	-	-	-	-

関係者分析ワークショップ資料（関係者分析カード整理表）（その1-2/2）

		中央政府の政策機関			
関係者	機関	国家企画庁 (Departamento Nacional de Planeación: DNP)	国家森林開発計画 (Gerencia del Plan Nacional de Desarrollo Forestal: PNDF)	環境・住宅・国土開発省 (Ministerio de Ambiente, Vivienda y Desarrollo Territorial: MAVDT)	農業・農村開発省 (Ministerio de Agricultura y Desarrollo Rural: MADR)
問題・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>- 森林セクターを扱う内部の組織化が不足している</li> <li>- 天然林の管理・活用を推進する業務モデルがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 国家森林開発計画を地域あるいは県レベルに浸透させられない（森林計画技術）</li> <li>- 運営能力が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 行政組織・業務に問題がある</li> <li>- 森林インベントリーおよび森林管理計画作成技術が確立されていない</li> <li>- 森林管理のための技術基準が確立されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 天然林の持続的管理にかかると政策を指導する技術能力が低い</li> <li>- 天然林の活用における低インパクト技術を知らない</li> </ul>

表5 関係者分析ワークショップ資料（関係者分析カード整理表）（2-1/2）

関係機関・関係者	研究機関			地方行政および普及機関	
	国家森林研究振興公社 (Corporación Nacional de investigación y Fomento Forestal: CONIF)	水文気象環境調査院 (Instituto de Hidrología, Meteorología y Estudios Ambientales: IDEAM)	地方自治公社 (Corporaciones Autónomas Regionales: CAR)	国家教育サービス (Servicio Nacional de Aprendizaje: SENA)	国家農村開発院 (Instituto Nacional de Desarrollo Rural: INCODER)
天然林との主な関わり	- 天然林および人工林の持続的管理の振興 - 天然林の研究	- 森林に関する統計データと情報収集、記録、システム化、作成 - 森林情報システム管理者	森林の管理および計画 <sup>4)</sup>	森林由来の生産物（原料）の管理・利用・加工に関する普及・技術移転	農業・農村開発省が策定する生産に関する政策の実施
必要としている研修テーマ	- 新しい情報技術および情報ネット - バイオテクノロジー - 森林研究技術および森林の持続性 - 森林保護および育種の新しい技術	- 森林統計の作成および分析 - 森林データベースの作成と地域レベルでの応用 - 国家森林インベントリーの企画および手法開発 - 天然林に応用した地理情報システムとリモートセンシング - 森林地域の評価およびモニタリング	- 森林資源利用の計画およびモニタリング技術の活用 - 現地調査による情報収集手法および情報のシステム化 - 荒廃した森林生態系の復旧技術	- 森林利用技術 - 有用樹種による森林のエントリーメントおよび市場における需要 - 天然林における労働能力	- 天然林を利用する生産者の組織化および組織強化 - 森林普及および計画に関する新しい技術・手法 - 持続的利用に関する指導を行うために必要な非木質系林産物の市場ポテンシャルに関する知識
	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

表5 関係者分析ワークショップ資料（関係者分析カード整理表）（2-2/2）

関係機関・関係者	研究機関			地方行政および普及機関	
	<p>国家森林研究振興公社 (Corporación Nacional de Investigación y Fomento Forestal: CONIF)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 森林インベントリを実施する資金が不足している</li> <li>- 植物体の大量生産技術を知らない</li> <li>- 国際的な計画や交渉における人的能力が不足している</li> <li>- 天然林の成長、生産性にかかる先端開発モデルの知識が無い</li> <li>- 森林資源管理のための社会と環境の対立関係の管理</li> <li>- 森林普及手法の不足</li> </ul>	<p>水文気象環境調査院 (Instituto de Hidrología, Meteorología y Estudios Ambientales: IDEAM)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 国における存在性が低いため森林統計の信頼性が低い</li> <li>- 信頼できない技術開発</li> <li>- 森林情報が流れない</li> <li>- 森林統計を作成する文化がない</li> <li>- 地域レベルの森林情報システムの整備度合いが低い</li> <li>- 森林情報システムを管理するための資金的・技術的・人的投入能力が低い</li> <li>- 国家森林インベントリ実施および手法開発のための資金的能力が無い</li> <li>- 森林統計・情報の確認および標準化がなされおらず、情報の収集・管理のプロトコルも無い</li> <li>- 森林地域の特性把握・評価・モニタリングの技術基準の開発が遅れている。</li> </ul>	<p>地方自治公社 (Corporaciones Autónomas Regionales: CAR)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 天然林利用の継続的管理</li> <li>- 天然林に関する普及プログラムが無い</li> <li>- 全国のCARの90%は森林情報を記録するデータベースを持っていない</li> </ul>	<p>国家教育サービス (Servicio Nacional de Aprendizaje: SENA)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 森林普及分野の人材の更新がなされていない</li> </ul>	<p>国家農村開発院 (Instituto Nacional de Desarrollo Rural: INCODER)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 森林普及を実施するための運営能力が低い</li> <li>- 森林開発のための予算的調整がない</li> <li>- 地域を管轄するための森林分野の人的資源が不十分である</li> </ul>

## 調査日程

調査期間：平成 16 年 7 月 20 日～7 月 30 日

	月日	行程	宿泊	
1	7/20 (水)	<小川> (サンパウロ →ボゴタ)	<赤木・山田>成田発→ニューヨーク経 由→ボゴタ着	機内泊
2	7/21 (木)	(09:00) JICA 事務所打合せ (於 JICA コロンビア事務所) (11:00) 在コロンビア大使館表敬・調査目的説明 (於 EOJ) (14:00) 国家企画庁 (DNP) 持続的農村開発部次長、国家森林 開発計画事務局 (PNDF) 長、国際協力庁 (ACCI) へ の表敬・打合せ (於 DNP) (15:30) 国家森林研究振興公社 (CONIF) 生産連携技術秘書官 等への聞き取り調査 (於 CONIF) (17:00) 地方環境独立法人連盟本部 (ASOCAR) 代表等、チョコ コ地方環境独立法人 (CODECHOCO) 代表、アマゾナ ス地方環境独立法人 (CORPOAMAZONAS) 代表、バジ ェ・デ・カウカ地方環境独立法人 (CVC) 代表、カウ カ地方環境独立法人 (CRC)、ナリーニョ地方環境独立 法人 (CORPONARINO) への聞き取り調査 (於 ASOCAR)		ボゴタ
3	7/22 (金)	(09:00) 農業・農村開発省 (MADR) 森林調整官、国家農村開 発院 (INCODER) 社会生産性開発局副局長、森林ア ドバイザーへの聞き取り調査 (MADR) (11:00) 水文・気象・環境研究院 (IDEAM) 生態系局長、研究 員への聞き取り調査 (IDEAM) (14:30) 環境・住宅・国土開発省 (MAVDT) 生態系局長への聞 取り調査 (於 MAVDT) (16:00) C/P 関係機関 (DNP、PNDF、MAVDT、MADR、INCODER、 IDEAM、CONIF、ASOCAR) との協力内容協議 (於 DNP)		
4	7/23 (土)	PDM 案、PO 案、M/M 案、R/D 案修正作業		
5	7/24 (日)	PDM 案、PO 案、M/M 案、R/D 案修正作業		
6	7/25 (月)	(09:00) DNP 持続的農村開発部とのミニッツ案事前協議 PDM 案、PO 案、M/M 案、R/D 案修正作業 (於 JICA 事務所) (18:50) 職業訓練庁 (SENA) への聞き取り調査 (於 SENA)		
7	7/26 (火)	(A M) PDM 案、PO 案、M/M 案、R/D 案修正作業 (14:00) C/P 関係機関 (DNP、PNDF、MAVDT、MADR、INCODER、 IDEAM、CONIF、ASOCAR) とのミニッツ案協議 (於 DNP)		
8	7/27 (水)	(09:00) C/P 機関代表 (DNP 持続的農村開発部長) とのミニツ ツ署名 (於 DNP) (16:00) 在コロンビア日本大使館報告 (17:00) JICA 事務所報告		
9	7/28 (木)	ボゴタ発→ニューヨーク着		NY
10	7/29 (金)	ニューヨーク発→		機内泊
11	7/30 (土)	→成田着		



## 主要面談者リスト

## (1) コロンビア側関係機関

国家企画庁 (DNP) 持続的農村開発部

部長 Dr. Ricardo Antonio Torres Carrasco

Asesor Mr. Gabriel Alfonso Beltran Munoz

国家森林開発計画事務局 (PNDF)

PNDF 事務局長 Mr. Nicolas Zea M.

環境・住宅・国土開発省 (MAVDT) 生態系局

局長 Mr. Leonardo Munoz

専門員 Mr. Ruben Dario Guerrero

農業・農村開発省 (MADR) 生産連携振興局

局長 Mrs. Nohara Iregui

森林調整官 Mr. Nelson Lozano

国家農村開発院 (INCODER)

社会生産性開発局副局長 Mr. Jose Riano

森林専門員 Mr. Dagoberto Gonzalez

水文・気象・環境研究院 (IDEAM)

所長 Mr. Carlos Costa

生態系局長 Mr. Gonzalo Arango

研究員 Mrs. Maria Celillia Cardona

国家森林研究振興公社 (CONIF)

所長 Mr. Camilo Aldana

地方森林生産連携技術指導員 Mr. Guillermo Ulloa

技術調整員 Mr. Enrique Vega

地方自治公社連盟本部 (ASOCAR)

代表 Mr. Francisco Canal

専門員 Mr. David Ojeda

チョコ県地方自治公社 (CODECHOCO)

代表 Mr. Jesus Nicolas Abadia Moya

アマゾナス県地方自治公社 (CORPOAMAZONAS)

代表 Mr. Jose Ignacio Munoz Cordoba

バジェ・デ・カウカ地方環境独立法人 (CVC)

代表 Mr. Julian Camilo Arias Rengifo

カウカ地方環境独立法人 (CRC)

代表 Mr. Juan Carlos Moya F.

ナリーニョ地方環境独立法人 (CORPONARINO)

代表 Mr. Alfonso Melo Martinez

職業訓練庁 (SENA) 国際協力局長 Mr. Ines Carlota Carriazo

国際協力庁 (ACCI) 国際協力局 Mr. Ricardo Melo

## (2) 日本側関係機関

在コロンビア大使館 二等書記官 岡本 裕也

JICA 事務所

所員 近藤 貴之

技術協力班長 高瀬 直文

技術協力班 Mr. CHIKU CH. Ricardo Yukio



地球環境部 1G2T 小川 INPA 調査記録

7月13日 15時から19時、14日10時から12時

面談者：Edinaldo Nelson dos Santos Silva, INPA 副所長

Dra. Isolda D. Kossmann Ferraz, 種子・苗生理学担当

所感：熱帯林業の担当研究者が不在のため、技術的に詳細な協議はできなかったが、INPA は本協力案に対し非常に積極的であり、かつ行政官から現場普及員まで多様なレベルとニーズに対応が可能と思える。ただし、本件のような海外からの委託によるまとまった研修についてはこれまで多くの実績がないため、関連団体の活用を含め初年度は JICA による相当の支援とモニタリングが必要。

## 1. 研修の受け入れについて

- ・ これまでも周辺国から、伯外務省と教育省の外国留学生奨学プログラムの下、POST-Graduate を 30 年来受け入れている。また、国内自治体等関係者のための環境理解プログラムの研修を毎年実施しており、これらの経験から今回の「研修」も実施できる。
- ・ コロンビアとは、上記奨学制度での受け入れ実績があるとともに、アマゾン研究所(SHINCHI)とは、アマゾン保護関連の会議や水生類の研究で関連している。水文・気象・環境研究院(IDEAM)とはこれまで関係はない。アマゾン環境保全という意味で、本研修を通じてコロンビアとネットワークを構築できることは良いことである。
- ・ 1回の受け入れ人数は、何をするかにより使用機材が異なり、その機材の数等により受け入れの最大人数の制約が起こりうるが、1回10名程度であれば問題はない。郊外に保護区や試験圃場も有しており、現場研修も可能。
- ・ 研修内容については、コミュニティレベルの普及手法から天然林施業等に至るまで、対応は可能。コロンビア側のニーズと協力のフレームワークが決まったら、それに合った研修カリキュラムの作成と見積もりが可能。
- ・ 施設としては実験室、講義室、関連資材、車両等は問題ない。宿泊施設については、試験圃場にはあるが、センターにはないので市内のホテルを利用。昼食は食堂があるので提供可能。
- ・ 言語はスペイン語で行うことも可能であり問題ない。スペイン語での教材作成も可能。

## 2. 契約について

- ・ ABC を通さないことについては問題ない。INPA と JICA の直接契約も可能であるが、国庫を通すため手続きに時間がかかり事業の柔軟性に問題がある。このため、これまで世銀やコンサベーションインターナショナル等との契約は、NGO の INPA 後援会(ASSAI)もしくは Djalma Batista 財団を通じて資金管理を行っている。
- ・ 上記2団体の理事長は INPA の所長であり、両団体ともに正式登録されている。

- ・ ASSAI は設立し 2 年、DB 財団は 10 年の活動実績があり信用に問題はない。契約は INPA と JICA と 2 団体のどちらかの 3 者で交わすことが適当（コンサベーションインターナショナルとの契約書コピーを参考までに後日 JICA に提出予定）。副所長としてはどちらの団体か JICA の判断に任せるが、DB 財団は事業量が多いため、ASSAI の方が良いのではないかとの見解。
- ・ 当方より前払い 4 割、精算時に残額払いが可能か質問したのに対し、契約（見積もり）の中身にもよるので即答はできないとのこと。銀行保証の取り付け可否は確認の必要があるとのこと不明。

### 3. 施設、機材等

- ・ INPA 内は各研究セクターに 20 名規模の講義室と関係実験室を備えている。また、学生用の自習室やコンピューター室も備えており、研修機材を含め現状で対応が可能と思慮。
- ・ 車両についてもマイクロバス、4WD 乗用トラック等、集団での移動も可能な車両を保有し活用可能とのこと。
- ・ 圃場は 30Km と 60km 離れたところに 2 箇所あり、今回見学できなかったが宿舎を含め実習に必要な施設は整っているとのこと。

### 4. 宿舎、生活費等参考情報

- ・ 市内で 3 星クラスのホテルでは ibis hotel が平日 109 レアル、週末 99 レアル、朝食 8 レアルで最安値（割引不可）。INPA より車で 10 分以内。
- ・ 台所付ホテルでは SLAASS flat hotel が朝食税込みで 125 レアル。30 日連泊の場合は 92 レアルに割引。セントポール flat hotel は 145 レアル。30 日連泊で 133 レアル程度。
- ・ 昼食は INPA の食堂で量り売り。飲み物込みで 4~8 レアル程度。
- ・ 参考までに INPA 奨学生の生活費は家賃込みで月額マスターコースが 855 レアル、ドクターコースが 1,267 レアルとのこと。ただし基本的に学生との比較は不適當と思慮。

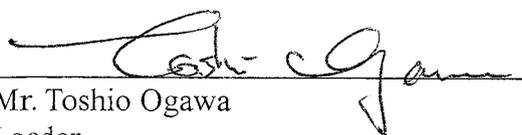
MINUTES OF MEETING  
BETWEEN  
THE JAPANESE PREPARATORY STUDY TEAM  
AND  
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF  
THE REPUBLIC OF COLOMBIA  
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR  
THE NATURAL FOREST MANAGEMENT AND SUSTAINABLE USE

The Japanese Preparatory Study Team (hereinafter referred to as “the Team”) organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and headed by Mr. Toshio Ogawa visited the Republic of Colombia from 20<sup>th</sup> July, 2005 to 28<sup>th</sup> July, 2005 for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning the Natural Forest Management and Sustainable Use Project (hereinafter referred to as “the Project”) in the Republic of Colombia.

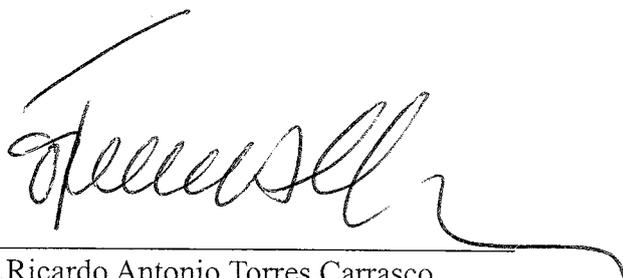
During its stay, both the Team and the authorities concerned of the Government of the Republic of Colombia exchanged views and had a series of discussions on the contents of the Project.

As a result of the discussions, the both sides agreed the matters referred to in the document hereto.

Bogotá D.C., Colombia,  
27<sup>th</sup> July, 2005



Mr. Toshio Ogawa  
Leader,  
Preparatory Study Team  
Japan International Cooperation Agency  
Japan



Dr. Ricardo Antonio Torres Carrasco  
Director,  
Sustainable Rural Development  
Department of National Planning  
Republic of Colombia

## THE ATTACHED DOCUMENT

### I . Confirmation of the Framework of the Project

1. Both sides agreed to change the title of the Project from “National Forest Management and Application Project” to “National Forest Management and Sustainable Use Project”.
2. The both sides agreed to the contents of the framework of the Project as Annex 1,2 and 3 attached hereto.

### II . Special Issues to be taken note through the discussions

1. Activities of Japanese expert(s)  
Both sides agreed that area for activities of Japanese expert(s) is strictly limited based on the JICA's security regulation. Therefore, the pilot project(s) in model site(s) mentioned in Annex 1 will be implemented only in the case that Japanese expert(s) can securely work in the site(s). And, Japanese side requested to make sure the security of the Japanese expert(s) during his/their stay in Colombia by the authorities concerned of Colombia government as much as possible.
2. The Project Document  
JICA has proposed to omit a submission of the Project Document mentioned in the last minutes of meeting signed in September, 2004 to put the project on a fast track, and Colombian side agreed this matter.
3. Training expenses  
The necessary expenses for implementation of training courses, holding seminars and workshops in Colombia and elsewhere will be considered to be bear by JICA based on the regulation of JICA.
4. Expenses for the counterpart and administrative personnel  
Colombian side agreed to bear the ordinaly cost for the counterpart and administrative personnel mentioned in Annex 1, such as salary, wages and travel expenses for attending meetings and workshops in Colombia.
5. National and regional specialists  
The Team noted that utilization of knowledge and experience of other specialists related with the Project activities in Colombia and the neighbouring countries is important for the achievement of the better outcome of the Project and proposed to have the opportunities to learn from them. The Colombia side agreed the proposal.



6. Throughout the implementation of the Project, necessary measures shall be taken in order to coordinate with other forestry cooperation projects such as "Support for national forestry plans" project of FAO.

### III. Schedule until the project commencement

1. Signing the R/D between DNP, ACCI and JICA  
Resident Representative of JICA Colombia Office and the representative of Colombian authorities on the Project will sign the R/D by the end of September, 2005.
2. The Colombian side will submit formal request forms for the Dispatch of Japanese Expert (A1 form) valid for the JFY 2005 to JICA by the end of September, 2005, if possible.

Annex 1. Draft of the R/D  
Annex 2. Draft of the PDM  
Annex 3. Draft of the PO

ANNEX 1

RECORD OF DISCUSSIONS  
BETWEEN  
THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY  
AND  
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF  
THE REPUBLIC OF COLOMBIA  
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR  
THE NATURAL FOREST MANAGEMENT AND SUSTAINABLE USE

With regard to Japanese technical cooperation program concerning the "Natural Forest Management and Sustainable Use Project" (hereinafter referred to as "the Project") in the Republic of Colombia, the Resident Representative of the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") in the Republic of Colombia held a series of discussions with the Colombian authorities concerned.

As a result of the discussions, both sides agreed, taking account of the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the Republic of Colombia, signed on December 22, 1976 (hereinafter referred to as "the Agreement") to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Done in duplicate at Bogotá D.C., on \_\_\_\_\_, 2005 in English and Spanish languages, each text is being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Bogotá D.C., Colombia

\_\_\_\_\_  
Mr. Ryozo Hanya  
Resident Representative  
JICA Colombia Office  
Japan International Cooperation Agency  
Japan

\_\_\_\_\_  
Dr. Ricardo Antonio Torres Carrasco  
Director  
Sustainable Rural Development  
Department of National Planning  
Republic of Colombia

Witness

\_\_\_\_\_  
Dr. Luis Alfonso Hoyos  
Director (e),  
Colombia International Cooperation Agency  
Republic of Colombia

## THE ATTACHED DOCUMENT

### I. COOPERATION BETWEEN JICA AND THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF COLOMBIA

1. The Government of the Republic of Colombia will implement the Natural Forest Management and Sustainable Use Project (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex I.

### II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article II of the Agreement, JICA, as the executing agency for technical cooperation by the Government of JAPAN, will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

#### 1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

JICA will provide the services of the Japanese experts as listed in Annex II-1. The provision of Article V of the Agreement will be applied to the above-mentioned experts.

#### 2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in Annex II-2. The provision of Article IX of the Agreement will be applied to the Equipment.

#### 3. TRAINING OF COLOMBIAN PERSONNEL

JICA will provide the technical training courses for the Colombian personnel connected with the Project.

### III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF COLOMBIA

1. The Government of the Republic of Colombia will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. In accordance with the provisions of Article IV of the Agreement, the Government of the Republic of Colombia will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Colombian nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Republic of Colombia.
3. In accordance with the provisions of Article V and VI of the Agreement, the Government of the Republic of Colombia will grant in the Republic of Colombia privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. In accordance with the provisions of Article IX the Agreement, the Government of the Republic of Colombia will take the measures necessary to receive and use the Equipment provided by JICA under II-2 above and equipment, machinery and materials carried in by the Japanese experts referred to in II-1 above.
5. The Government of the Republic of Colombia will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the personnel of the Republic of Colombia from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the provision of Article V of the Agreement, the Government of the Republic of Colombia will provide the services of Colombian counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex II -3.
7. In accordance with the provision of Article V of the Agreement, the Government of the Republic of Colombia will provide the office spaces and facilities as listed in Annex II -4.

8. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Colombia, the Government of the Republic of Colombia will take necessary measures to supply or replace at its own expense machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided by JICA under II-2 above.
9. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Colombia, the Government of the Republic of Colombia will take necessary measures to meet the running expenses necessary for the implementation of the Project.

#### IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Director of the Sustainable Rural Development, Department of National Planning (DNP), as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. The Sub-Director of the Production and Rural Development, DNP, as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. The Japanese experts will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to counterpart personnel of the Republic of Colombia on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in Annex III.

#### V. JOINT EVALUATION



Evaluation of the Project will be conducted jointly by JICA and the Colombian authorities concerned, at the middle and during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

#### VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

In accordance with the provision of Article VII of the Agreement, the Government of the Republic of Colombia undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of Colombia except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

#### VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and the Government of the Republic of Colombia on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

#### VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of the Republic of Colombia, the Government of the Republic of Colombia will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of the Republic of Colombia.

#### IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be 5 years from the date of arrival of the first expert under the Project.

- ANNEX I MASTER PLAN
- ANNEX II-1 LIST OF JAPANESE EXPERTS
- ANNEX II-2 LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT
- ANNEX II-3 LIST OF THE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE  
PERSONNEL
- ANNEX II-4 LIST OF OFFICE, TRAINING SPACES AND FACILITIES
- ANNEX III JOINT COORDINATING COMMITTEE
- ANNEX IV ABBREVIATIONS



## ANNEX I MASTER PLAN

### 1. Target Area

The target areas of the Project are as follows:

Covering areas of CORPOAMAZONIA, CORPO NARINO, CRC,CVC and CODECHOCO

### 2. Overall Goal

Techniques for the natural forest management and sustainable use will be extended to local communities and producers under the cooperation among the related organizations on Natural Forest Management and Utilization Subprogram of National Forestry Development Plan (hereinafter referred as "PNDF").

### 3. Project Purpose

The capability of related organizations engaged in natural forest management and sustainable use in target areas is improved, and technical guidance ability of the organizations to local communities and producers is further strengthened.

### 4. Outputs

- (1) Staff taking in charge of "Plan de Ordenacion Forestal (Forest Ordering Plan)" in five (5) CARs improve its capacity to measure and monitor the situation of forest resources in target area.
- (2) Staff taking in charge of "Plan de Ordenacion Forestal" and "Plan de Manejo Forestal (Forest Management Plan)" in 5 CARs improve its practical skills to validate the management plan and to give technical guidance to local communities and producers.
- (3) Forest engineers in five 5 CARs and technical extension officers in INCODER improve their knowledge, technical capacity and practical experience about natural forest management and sustainable use in target areas.
- (4) Related organizations on Natural Forest Management and Utilization Subprogram in Development of Productive Forestry Chains Program of PNDF strengthen their activities of gathering and sharing information and public relations, for the purpose of enhancement of their cooperative relation and technical extension services to the local communities and producers.

### 5. Activities

- (1)-1. To conduct the training program for measurement and monitoring method of forest resources for the staff taking in charge of “Plan de Ordenación Forestal” in targeted of 5 CARs.
- (1)-2. After the training mentioned in activity (1)-1, participants of the training review the situation of forest resources in targeted 5 CARs by their own initiative, and continue to monitor the situation afterwards.
- (2)-1. Staff taking charge of planning for “Plan de Ordenación Forestal” and staff taking charge of examination for “Plan de Manejo Forestal” review the contents of the drafted and/or completed plan in each CAR and the situation of extension to local communities and producers, then take up the problems arising from the review.
- (2)-2. Training the methods for planning, examination and guideline of “Plan de Ordenación Forestal” and “Plan de Manejo Forestal” and other related issues for the staff taking in charge above plans in targeted 5 CARs.
- (3)-1. Forest engineers and related staff in targeted 5 CARs, INCODER and SENA review their own activities, and take up the necessary training subjects related to techniques for the natural forest management and sustainable use, such as natural regeneration, enrichment, and utilization of forest products.
- (3)-2. To establish training courses regarding the techniques for management and sustainable use of natural forest for forest engineers and other related staff in 5 CARs, INCODER and SENA.
- (3)-3. To implement the training courses regarding the techniques for management and sustainable use of natural forest mentioned in activities (3)-2 for forest engineers and other related staff in 5 CARs, INCODER and SENA.
- (3)-4. Forest engineers in 5 CARs, INCODER and SENA participated in above training courses organize technical seminar aiming at providing technical guidance and exchange for local community councils and production union etc.
- (3)-5. Forest engineers in 5 CARs, INCODER and SENA participated in above training courses organize on-site training about natural forest management and sustainable use for local communities and producers in targeted areas in cooperation with local community councils and production unions.
- (3)-6\*. CORPOAMAZONIA and other related organization make technical hand-book about natural forest management and sustainable use for local communities and producers based on the result of the technical seminar mentioned in activity 3-4 taken place around Leticia City, Department of Amazonas.
- (3)-7\*. To implement a pilot project on natural forest management and sustainable use model-site around the Leticia City, Department of Amazonas. According to the



result of the pilot project, CORPOAMAZONIA and other related organization revise the contents of hand-book which mentioned in activity (3)-6.

*\*NOTE: The activities mentioned in (3)-6,(3)-7 will be implemented depending on the JICA's security regulation.*

- (4)-1. Targeted 5 CARs and INCODER in coordination with IDEAM collect information about various activities, results and lessons regarding management and sustainable use of natural forest as a result of the activities (1)-1 to (3)-7..
- (4)-2. MAVDT, MADR, INCODER, IDEAM, CONIF, ASOCAR and other related organizations of NFDP sort out, analyze and evaluate the information which mentioned in activities (4)-1.
- (4)-3. Office of PNDF in cooperation with other related organizations implements the public relations activities such as producing pamphlet for the promotion of "Natural Forest Management and Utilization Subprogram in Development of Productive Forestry Chains Program of PNDF" including various information and lessons through the analysis mentioned in 4-2 for local communities and producers.
- (4)-4. To hold some workshops and seminar for the purpose of sharing information among related organizations of PNDF, if necessary.



## ANNEX II

### 1. LIST OF JAPANESE EXPERTS

- 1) At least one Japanese expert in the field of Training planning / Natural forest management, will be dispatched.
- 2) Other expert(s) may be dispatched depending on the needs.

### 2. LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

Machinery, equipment, tools, spare parts and text books necessary for the implementation for the activities described in the Master Plan.

### 3. LIST OF THE COLOMBIAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

- 1) Project Director  
Director, Sustainable rural development, DNP
- 2) Project Manager  
Sub-Director, Production and rural development, DNP
- 3) Counterpart personnel  
Staffs of DNP, PNDP, MAVDT, MADR, INCODER, IDEAM, CONIF and ASOCAR
- 4) Administrative personnel
  - a. Administrator (Training Coordinator)
  - b. Accountant
  - c. Secretaries
  - d. Drivers
  - e. Watchmen
  - f. Other support personnel when necessity arises

### 4. LIST OF OFFICE, TRAINING SPACES AND FACILITIES

- 1) Office spaces for Japanese expert(s) in DNP headquarter, Bogota
- 2) Training facilities in CONIF and other available institutions
- 3) Other necessary facilities and equipment for the implementation of the Project.

## ANNEX III JOINT COORDINATING COMMITTEE

### 1. Functions

The Joint Coordinating Committee shall;

- 1) Discuss and decide overall strategies in the management and coordination of the Project,
- 2) Review and endorse the annual plan of the Project,
- 3) Monitor and evaluate the progress of the Project, and
- 4) Make decisions relevant to the overall management of the Project.

### 2. Composition

The Joint Coordination Committee shall be composed of:

- 1) Chairman  
Director, Sustainable rural development, DNP
  
- 2) Colombian side
  - A. Project Manager
  - b. Director of PNDF
  - c. Representative of ACCI
  - d. Representative of MAVDT
  - e. Representative of MADR
  - f. Representative of INCODER
  - g. Representative of IDEAM
  - h. Representative of CONIF
  - i. Representative of ASOCAR
  - j. Each Representative of 5CARs
  - k. Representatives of the organizations to be named by Chairman
  
- 3) Japanese side
  - a. Resident Representative of JICA Colombia
  - b. Japanese Expert(s)

NOTE: Official(s) of the Embassy of Japan in Colombia may attend as observer(s).

## ANNEX IV ABBREVIATIONS

1. DNP ; National Department of Planning
2. PNDF ; National Forestry Development Plan
3. ACCI ; Colombia International Cooperation Agency
4. MAVDT ; Ministry of Environment, Housing and Land Development
5. MADR ; Ministry of Agriculture and Rural Development
6. INCODER ; Colombian Rural Development Institution
7. IDEAM ; Hydrology, Meteorology and Environmental Studies Institute
8. CONIF ; National Corporation of Research and Forestry Fostering
9. ASOCAR ; Association of Regional Autonomous Corporations and the Corporations for Sustainable Development and Environmental Authorities of Urban Centers
10. CAR; Regional Autonomous Corporations and the Corporations for Sustainable Development
11. CORPOAMAZONIA; Corporation for the Sustainable Development of the South Amazonia in Colombia
12. CORPONARINO; Regional Autonomous Corporation of Narino
13. CRC; Regional Autonomous Corporation of Cauca
14. CVC; Regional Autonomous Corporation of Valle del Cauca
15. CODECHONO; Regional Autonomous Corporation for the Sustainable Development of Choco
16. SENA; National Apprenticeship Service



ANNEX 2

Project Title: Natural Forest Management and sustainable use Project in Colombia  
 Implementation Body: Dept. of sustainable rural development, INP and other related organizations  
 Project period: 2005 to 2010  
 Project sites: Bogota D. C., Leticia City of Department of Amazonas\*

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verifications	Important Assumptions
<p><b>OVERALL GOAL:</b> Techniques for the natural forest management and sustainable use will be extended to local communities and producers under the cooperation among the related organizations on Natural Forest Management and Utilization Subprogram of National Forestry Development Plan (hereinafter referred as "NFDP").</p> <p><b>Project Purpose:</b> The capability of related organizations engaged in natural forest management and sustainable use in target areas is improved, and technical guidance ability of the organizations to local communities and producers is further strengthened.</p> <p><b>Outputs1:</b> Staff taking in charge of "Plan de Ordenación Forestal- Forest Ordering Plan-" in each five (5) CAR improve its capacity to measure and monitor the situation of forest resources in target area.</p> <p><b>Outputs2:</b> Staff taking in charge of "Plan de Ordenación Forestal" and "Plan de Manejo Forestal -Forest Management Plan-" in each five (5) CAR improve its practical skills to validate the management plan and to give technical guidance to local communities and producers.</p> <p><b>Outputs3:</b> Forest engineers in five (5) CARs and technical extension officers in INCODER improve their knowledge, technical capacity and practical experience about natural forest management and sustainable use in target areas.</p> <p><b>Outputs4:</b> Related organizations on Natural Forest Management and Utilization Subprogram in NFDP strengthen their activities of gathering and sharing information and public relations for the purpose of enhancement of their cooperative relation and technical extension services to the local communities and producers.</p>	<p>Extension rate for local communities and producers, etc.</p> <p>Degree of skills and/or knowledge the staff engaged in charge of the project has for the project of technical extension personnel of CARs/INCODERs and other participants</p> <p>variety of information and contents and/or confidence of information about forest resources</p> <p>applicability and degree of understanding of knowledge and skills acquired through the training</p> <p>Degree of understanding and applicability about techniques, concept and system of natural forest management and sustainable use</p> <p>situation of monitoring of information, etc. evaluation by FAO, etc.</p>	<p>Questionnaire for the local communities and producers who participated to the related training before/after the participation.</p> <p>Questionnaire for the staff of CARs and INCODERs and other related organizations who participated to the related training before/after the participation.</p> <p>Monitoring for the ex-participants</p> <p>Monitoring for the related organizations</p> <p>seminar reports etc.</p> <p>Evaluation by FAO, etc.</p>	<p>NFDP is not stopped until 2025</p> <p>Participants will not change their job related to NFDP</p> <p>Participants will not immediately change their job from the field of forest management organizations</p>
<p><b>Activities1-1:</b> To conduct the training program for measurement and monitoring method of forest resources for the staff taking in charge of "Forest Ordering Plan" in targeted five (5) CARs.</p> <p><b>Activities1-2:</b> After the training mentioned in activity 1-1, participants of the training review the situation of forest resources in targeted five (5) CARs by their own initiative, and continue to monitor the situation afterwards.</p> <p><b>Activities2-1:</b> Staff taking charge of planning for "Forest Ordering Plan" and staff taking charge of examination for "Forest Managing Plan" review the contents of the drafted and/or completed plan in each CAR and the situation of extension to local communities and producers, then take up the problems arising from the review.</p> <p><b>Activities2-2:</b> Training the methods for planning, examination and guideline of "Forest Ordering Plan" and "Forest Management Plan" and other related issues for the staff taking in charge above plans in targeted five (5) CARs.</p> <p><b>Activities3-1:</b> Forest engineers and related staff in targeted five (5) CARs and INCODER and SEMA review their own activities, and take up the necessary training subjects related to techniques for the natural forest management and sustainable use, such as natural regeneration, enrichment, and utilization of forest products.</p> <p><b>Activities3-2:</b> To establish training courses regarding the techniques for management and sustainable use of natural forest for forest engineers and other related staff in 5 CARs, INCODER and SEMA.</p> <p><b>Activities3-3:</b> To implement the training courses regarding the techniques for management and sustainable use of natural forest mentioned in activities 3-2 for forest engineers and other related staff in 5 CAR, INCODER and SEMA.</p> <p><b>Activities3-4:</b> Forest engineers in SCARs, INCODER and SEMA participated in above training courses organize technical seminar aiming at providing technical guidance and exchange for local community councils and production union etc.</p> <p><b>Activities3-5:</b> Forest engineers in SCARs, INCODER and SEMA participated in above training courses organize on-site training about natural forest management and sustainable use for local communities and producers in targeted areas in cooperation with local community councils and production unions.</p> <p><b>Activities3-6:</b> CORPOAMAZONIA and other related organization make technical hand-book about natural forest management and sustainable use for local communities and producers based on the result of the technical seminar mentioned in activity 3-4 taken place around Leticia City, Department of Amazonas.</p> <p><b>Activities3-7:</b> To implement a pilot project on natural forest management and sustainable use model-site around the Leticia City, Department of Amazonas. According to the result of the pilot project, CORPOAMAZONIA and other related organization revise the contents of hand-book which mentioned in activity 3-6.</p> <p><b>Activities4-1:</b> Targeted SCARs and INCODER collect information about various activities, results and lessons regarding management and sustainable use of natural forest as a result of the activities 1-1 to 3-7.</p> <p><b>Activities4-2:</b> MAVDT, MADR, INCODER, IDEAM, CORNIF, ASOCCAR and other related organizations of WFDP sort out, and analyze and evaluate the information which mentioned in activities 4-1.</p> <p><b>Activities4-3:</b> Office of WFDP in cooperation with other related organizations implements the public relations activities such as producing pamphlet for the promotion of "Natural Forest Management and Utilization Subprogram of NFDP" including various information and lessons through the analysis mentioned in 4-2 for local communities and producers.</p> <p><b>Activities4-4:</b> To hold some workshops and seminar for the purpose of sharing information among related organizations of WFDP, if necessary.</p>	<p>Japanese Site</p> <p>Training Expenses (Training facilities in Japan and 3rd Countries, teaching materials, other training fees)</p> <p>Transportation fee for training in abroad of Colombia Air tickets, daily expenses etc.)</p> <p>Short term technical Experts</p> <p>Equipments for training in Colombia</p> <p>Expenses of technical seminar held by Japanese experts</p> <p>2 Colombian side</p> <p>Personnel costs for C.F.s</p> <p>Training fee for national teachers of Colombia</p> <p>Domestic transportation fee</p> <p>Costs related to logistics to air airconditioners, etc. etc.)</p> <p>Training facilities expenses (e. lighting and heating expense, etc.)</p>	<p>Participants will not change their job related to NFDP</p> <p>Participants will not immediately change their job from the field of forest management organizations</p>	<p>Former Conditions to start the Project Security conditions of target area will not be worse</p>

\*NOTE: The activities mentioned in 3-6, 3-7 will be implemented depend on the JICA's security regulation.



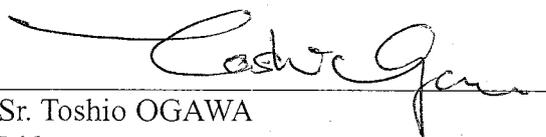
MINUTA DE DISCUSIONES  
ACORDADO ENTRE  
LA MISIÓN JAPONESA DE ESTUDIO PREPARATORIO  
Y  
LAS AUTORIDADES RELACIONADAS DEL GOBIERNO DE  
LA REPÚBLICA DE COLOMBIA  
SOBRE LA COOPERACIÓN TÉCNICA JAPONESA PARA  
EL MANEJO Y APROVECHAMIENTO SOSTENIBLE DE  
BOSQUES NATURALES

La Misión Japonesa de Estudio Preparatorio (en adelante denominada como “la misión”) enviada por la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en adelante denominada JICA), liderada por el Sr. Toshio Ogawa, visitó la República de Colombia desde el 20 de Julio de 2005 hasta el 28 de Julio de 2005 con el propósito de precisar los detalles del programa de la cooperación técnica sobre el Proyecto de Manejo y Aprovechamiento Sostenible de Bosques Naturales, (en adelante denominada como “el Proyecto”) a llevarse a cabo en la República de Colombia.

Durante su estadía, ambas partes, la misión y las autoridades del gobierno de la República de Colombia intercambiaron opiniones y discutieron sobre los contenidos del Proyecto.

Como resultado de las discusiones, ambas partes acordaron los asuntos referidos en el documento adjunto.

Bogotá, D.C., Colombia,  
27 de Julio de 2005



Sr. Toshio OGAWA  
Líder  
Misión Japonesa de Estudio Preparatorio  
Agencia de Cooperación Internacional  
del Japón, Japón



Dr. Ricardo Antonio Torres Carrasco  
Director  
Desarrollo Rural Sostenible  
Departamento Nacional de Planeación  
República de Colombia

R

## DOCUMENTO ADJUNTO

### I. Confirmación del contenido del Proyecto

1. Ambas partes estuvieron de acuerdo sobre el cambio del título del “Proyecto de Manejo y Aprovechamiento de Bosques Naturales” al “Proyecto de Manejo y Aprovechamiento Sostenible de Bosques Naturales”.

2. Ambas partes estuvieron de acuerdo sobre el contenido del Proyecto según el Anexo 1, 2 y 3.

### II. Temas especiales que se trataron durante las discusiones:

#### 1. Actividades del Experto(s) Japonés(es)

Ambas partes acordaron que el área de trabajo para las actividades del Experto(s) Japonés(es), será estrictamente limitada con base en las regulaciones de seguridad de JICA. Por lo tanto el Proyecto(s) piloto en el sitio(s) modelo escogido(s) será(n) implementados únicamente en caso de que el Experto(s) Japonés(es) pueda trabajar con seguridad en el lugar(es). La parte japonesa solicitó garantizar la seguridad del Experto(s) japonés(es), en lo posible, durante su estadía en Colombia por parte de las autoridades concernientes del gobierno de Colombia

#### 2. Documento del Proyecto

JICA propuso omitir el envío del Documento de Proyecto mencionado en la pasada Minuta de Discusiones firmada en Septiembre de 2004, para poner en marcha el proyecto de manera inmediata y Colombia estuvo de acuerdo con esto.

#### 3. Costos de Entrenamiento

Los costos necesarios para la implementación de los cursos de capacitación, seminarios, talleres en Colombia o cualquier otro país serán considerados para ser cubiertos por JICA de acuerdo con la regulación de JICA.

#### 4. Costos para Contrapartes y Personal Administrativo

Colombia estuvo de acuerdo en sufragar los gastos necesarios para las Contrapartes y Personal Administrativo mencionados en el ANEXO 1, tales como salarios, viáticos y gastos de desplazamiento para asistir a las reuniones y talleres en Colombia

#### 5. Especialistas Nacionales y Regionales

La Misión constató que el aprovechamiento del conocimiento y la experiencia de otros especialistas relacionados con las actividades del Proyecto en Colombia y en los países vecinos es importante para un mejor logro de los resultados del mismo, así como para que tengan la oportunidad de capacitarse a través de ellos. El Gobierno Colombiano estuvo de acuerdo.

R

Jay

6. A lo largo de la implementación del Proyecto, serán tomadas todas las medidas necesarias para poder lograr coordinación con los demás proyectos forestales de cooperación tales como el proyecto de Apoyo a Planes Nacionales Forestales con la FAO.

### III. Cronograma anterior al inicio del Proyecto

1. Firma del Registro de Discusiones (R/D) entre DNP, ACCI y JICA  
El representante residente de la Oficina de JICA en Colombia y las Autoridades representantes del Gobierno de Colombia firmarán un R/D del Proyecto a finales de Septiembre de 2005.
  
2. Firma del R/D entre DNP, ACCI y JICA  
El Gobierno Colombiano enviará la solicitud oficial para el Despacho de Experto Japonés (formato A1) para el Año Fiscal Japonés 2005 a JICA después de haberse llevado a cabo la firma del R/D.

Anexo 1. Borrador de R/D (Registro de Discusiones)

Anexo 2. Borrador de PDM (Matriz de Diseño del Proyecto)

Anexo 3. Borrador de PO (Plan de Operación)

ANEXO 1

REGISTRO DE DISCUSIÓN ENTRE  
LA AGENCIA DE COOPERACIÓN INTERNACIONAL DEL JAPÓN  
Y  
LAS AUTORIDADES CONCERNIENTES DEL GOBIERNO DE COLOMBIA  
SOBRE LA COOPERACIÓN JAPONESA  
PARA EL MANEJO Y APROVECHAMIENTO SOSTENIBLE DE  
BOSQUES NATURALES

Con relación a la Cooperación técnica relacionada con el Proyecto de Manejo y Aprovechamiento Sostenible de Bosques Naturales, (en adelante denominado “el Proyecto”) en la República de Colombia, el Representante Residente de la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en adelante denominada “JICA”) en la República de Colombia, sostuvo una serie de discusiones con las autoridades concernientes del Gobierno Colombiano.

Como resultado de las discusiones, las partes acordaron, teniendo en cuenta lo dispuesto en el Convenio sobre Cooperación Técnica entre los Gobiernos de Japón y de Colombia, firmado el 22 de Diciembre de 1976 (en adelante denominado “el Acuerdo”), recomendar a sus respectivos gobiernos los asuntos descritos en el documento adjunto.

Dado en Bogotá, el de \_\_\_\_\_ de 2005, con los textos en los idiomas inglés y español, igualmente auténticos. En caso de cualquier divergencia en la interpretación, el texto en inglés prevalece.

Bogotá, D.C., Colombia

\_\_\_\_\_  
Sr. Ryozo Hanya  
Representante Residente  
Agencia de Cooperación Internacional  
del Japón, Colombia  
Japón

\_\_\_\_\_  
Dr. Ricardo Antonio Torres Carrasco  
Director  
Desarrollo Rural Sostenible  
Departamento Nacional de Planeación  
República de Colombia  
Testigo

\_\_\_\_\_  
Dr. Luis Alfonso Hoyos Aristizábal  
Director (a.i.)  
Agencia Colombiana de Cooperación Internacional  
República de Colombia

R

Juy

## DOCUMENTO ADJUNTO

### I. COOPERACIÓN ENTRE JICA Y EL GOBIERNO DE COLOMBIA

1. El Gobierno de la República de Colombia implementará el Proyecto de Manejo y Aprovechamiento Sostenible de Bosques Naturales, (en adelante denominado "el Proyecto") en cooperación con JICA
2. El proyecto será implementado de acuerdo con el Plan Maestro referido en el Anexo I.

### II. MEDIDAS A SER TOMADAS POR JICA

De conformidad con las leyes y regulaciones vigentes en Japón y lo dispuesto en el Artículo II del Acuerdo, JICA como agencia ejecutora de la Asistencia Técnica del Gobierno de Japón, asumirá, a su propio costo, las siguientes medidas de acuerdo con los procedimientos de su Esquema de Cooperación Técnica.

#### 1. ENVÍO DE EXPERTOS JAPONESES

JICA proporcionará de ser necesario, los servicios de expertos japoneses, como se relaciona en el Anexo II. Lo previsto en el Artículo V del Acuerdo se aplicará para dichos expertos.

#### 2. PROVISIÓN DE MAQUINARIA Y EQUIPO

JICA proporcionará de ser necesario, la maquinaria, el equipo y otros materiales (en adelante denominado "el Equipo"), necesarios para la implementación del proyecto, como se relaciona en el Anexo III. Las provisiones del artículo IX del Acuerdo se aplicarán a lo relacionado con dichos Equipos.

#### 3. ENTRENAMIENTO DE PERSONAL COLOMBIANO

JICA organizará cursos de capacitación para el personal colombiano relacionado con el Proyecto.

R

JICA

### III. MEDIDAS A SER TOMADAS POR EL GOBIERNO DE LA REPÚBLICA DE COLOMBIA

1. El Gobierno de la República de Colombia tomará las medidas necesarias para asegurar que la debida operación del proyecto sea sostenida durante y después del período de cooperación técnica japonesa, a través de la completa y activa participación en el proyecto por parte de las autoridades, grupos beneficiarios e instituciones relacionadas.
2. De conformidad con lo dispuesto en el Artículo VI del Acuerdo, el Gobierno de la República de Colombia se asegurará de que la tecnología y conocimientos adquiridos por los funcionarios Colombianos como resultado de la cooperación técnica del Japón, contribuirán al desarrollo social y económico de la República de Colombia
3. De conformidad con lo dispuesto en el Artículo V y VI del Acuerdo, el Gobierno de la República de Colombia garantizará en su territorio, los privilegios, exenciones y beneficios a los expertos referidos en el numeral II-1, así como a sus respectivas familias.
4. De conformidad con lo dispuesto en el Artículo IX del Acuerdo, el Gobierno de la República de Colombia tomará las medidas necesarias para recibir y utilizar el Equipo provisto por JICA, referido en el numeral II-2 así como los Equipos, Maquinaria y Materiales traídos por los expertos referidos en el numeral II-1
5. El Gobierno de la República de Colombia tomará las medidas necesarias para asegurar que el conocimiento y experiencia adquiridos por los funcionarios colombianos capacitados en Japón, será utilizado efectivamente en la implementación del Proyecto
6. De conformidad con lo dispuesto en el Artículo V del Acuerdo, el Gobierno de la República de Colombia proporcionará los servicios necesarios del personal Colombiano de contraparte y administrativo según lo referido en el ANEXO II-3.

7. De conformidad con lo dispuesto en el Artículo V del Acuerdo, el Gobierno de la República de Colombia proporcionará las instalaciones, edificios y facilidades según lo referido en el ANEXO II-4
8. De conformidad con las leyes y regulaciones vigentes en la República de Colombia, el Gobierno de la República de Colombia tomará las medidas necesarias para cubrir a su cargo la compra y/o reemplazo de la maquinaria, equipos, instrumentos, vehículos, herramientas, repuestos y otros materiales necesarios para la implementación del Proyecto, diferentes a los Equipos provistos por medio de JICA según lo descrito en el numeral II-2.
9. De conformidad con las leyes y regulaciones vigentes en la República de Colombia, el Gobierno de la República de Colombia tomará las medidas necesarias para lograr la adecuada ejecución del presupuesto requerido para la implementación del Proyecto.

#### IV. ADMINISTRACIÓN DEL PROYECTO

1. El Director de Desarrollo Rural Sostenible del DNP como Director del Proyecto tendrá la responsabilidad de la administración e implementación del Proyecto
2. El Sub-director de Producción y Desarrollo Rural del DNP como Coordinador del Proyecto tendrá la responsabilidad del manejo técnico del Proyecto.
3. Los expertos japoneses proporcionarán las recomendaciones y apreciaciones técnicas pertinentes sobre cualquier aspecto al Director del Proyecto y el Coordinador del Proyecto para la implementación del proyecto.
4. Los expertos japoneses proporcionarán recomendaciones técnicas pertinentes sobre cualquier aspecto, al personal contraparte para la implementación del proyecto.
5. Para la efectiva y exitosa implementación de la cooperación técnica correspondiente al proyecto, se establecerá un Comité Coordinador Conjunto, cuyas funciones y composición se describen en el Anexo III.

## V. EVALUACIÓN CONJUNTA

La Evaluación del proyecto será realizada conjuntamente por JICA y las autoridades colombianas competentes, en la mitad y durante los últimos seis meses del período de cooperación con el fin de examinar los avances del proyecto.

## VI. RECLAMOS CONTRA LOS EXPERTOS JAPONESES

De conformidad con lo dispuesto en el Artículo VII del acuerdo, el Gobierno de la República de Colombia se asumirá a su cargo las demandas de los reclamos, si alguno surgiera, contra los expertos japoneses participantes en la cooperación técnica para el proyecto, que surjan de, ocurran en el transcurso de, o estén de alguna forma relacionados con, el desempeño de sus funciones oficiales en la República de Colombia, excepto aquellos que surjan de una mala conducta intencional o negligencia grave de los expertos japoneses al margen de la ejecución del proyecto..

## VII. CONSULTA MUTUA

Habrá consulta mutua entre JICA y el Gobierno de Colombia sobre cualquier asunto mayor que surja de, o esté en conexión con, este documento adjunto.

## VIII. MEDIDAS PARA PROMOVER EL ENTENDIMIENTO Y SOPORTE PARA EL PROYECTO

Con el propósito de brindar soporte al Proyecto frente al pueblo colombiano, el Gobierno de la República de Colombia tomará las medidas apropiadas para hacer que el Proyecto sea ampliamente difundido.

## IX. PERÍODO DE COOPERACIÓN

La duración de la cooperación técnica para el proyecto descrito en este documento adjunto será de 5 años a partir de la fecha de la llegada del primer experto de este Proyecto.

R

Jay

- ANEXO I PLAN MAESTRO
- ANEXO II-1 LISTA DE EXPERTOS JAPONESES
- ANEXO II-2 LISTA DE MAQUINARIA Y EQUIPOS
- ANEXO II-3 LISTA DE PERSONAL COLOMBIANO DE CONTRAPARTE Y PERSONAL ADMINISTRATIVO
- ANEXO II-4 LISTA DE OFICINAS, ESPACIO DE CAPACITACIÓN Y FACILIDADES
- ANEXO III COMITÉ COORDINADOR CONJUNTO
- ANEXO IV ABREVIACIONES

R

Jay

## ANEXO I PLAN MAESTRO

### 1. Áreas objeto

Las áreas objeto del Proyecto son siguientes

Áreas cubiertas por CORPOAMAZONIA, CORPONARIÑO, CRC, CVC, y CODECHOCO.

### 2. Meta Superior:

La técnica necesaria para el manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales se difundirá entre los productores y comunidades de la zona de bosques naturales, bajo la colaboración de las entidades pertinentes en el Subprograma del Manejo y Aprovechamiento Sostenible de Bosques Naturales del Plan Nacional de Desarrollo Forestal (en adelante menciona como "PNDF").

### 3. Objetivo del Proyecto:

La capacidad de las entidades relacionadas con el manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales de las áreas objeto se incrementa, y se fortalece la habilidad para dar instrucciones técnicas a las comunidades y los productores locales.

### 4. Resultados

- (1) El personal encargado del Plan de Ordenación Forestal en 5 Corporaciones Autónomas Regionales mejora su capacidad para identificar la situación de los recursos forestales y realizar monitoreo en las áreas objeto.
- (2) El personal encargado del Plan de Ordenación Forestal y del Plan de Manejo Forestal en cada una de 5 CARs mejora sus capacidad práctica para evaluar los planes de manejo y dar instrucciones técnicas a las comunidades y productores locales.
- (3) Ingenieros forestales en 5 CARs y los funcionarios de extensión técnica de INCODER mejora sus conocimientos, capacidad técnica y su experiencia practica sobre el manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales en las áreas objeto.
- (4) Las entidades relacionadas con el Sub-programa "Manejo y Aprovechamiento Sostenible de Bosques Naturales del Programa de Desarrollo de Cadenas Forestales Productivas del PNDP" fortalecen sus actividades de recolectar y compartir información y relaciones públicas con el propósito de estrechar la relación cooperativa y servicios de estención técnica para las comunidades y los

productores locales.

## 5. Actividades

- (1)-1. Realizar el curso de entrenamiento para el personal encargado de elaborar el Plan de Ordenación Forestal de 5 CARs correspondientes, sobre la metodología para identificar y monitorear el volumen de recursos forestales.
- (1)-2. En 5 CARs correspondientes, después del curso de entrenamiento del numeral (1)-1, los participantes realizan la revisión del volumen de recursos forestales. Luego, realizar las actividades de monitoreo continuamente.
- (2)-1. El personal encargado del Plan de Ordenación Forestal y del Plan de Manejo Forestal revisan cada uno los planes que están en procesos de elaboración o elaborados en cada CARs y la situación de extensión a la comunidad y productores, identificando los problemas.
- (2)-2. Realizar el curso de entrenamiento de metodología para la planificación, evaluación y seguimiento del "Plan de Ordenación Forestal" y del "Plan de Manejo Forestal" y otros temas, para el personal encargado de los planes en 5 CARs.
- (3)-1. Los ingenieros forestales y el personal encargado de 5 CARs, INCODER y SENA revisan sus actividades, e identificar los temas de capacitación relacionados con las técnicas del manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales tales como regeneración natural, enriquecimiento y uso de los productos forestales.
- (3)-2. Establecer el curso de capacitación sobre técnicas del manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales para ingenieros forestales y otros encargados de 5 CARs, INCODER y SENA.
- (3)-3. Realizar el curso de capacitación sobre las técnicas del manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales mencionado en la actividad (3)-2 para ingenieros forestales y otros encargados de 5 CARs, INCODER y SENA.
- (3)-4. Los ingenieros forestales y el personal encargado de 5 CARs, INCODER y SENA quienes han participado en el curso de capacitación anterior organizan seminario técnico para dar instrucciones e intercambiarlas para los consejos comunales y asociaciones de productores, etc.
- (3)-5. Los ingenieros forestales y el personal encargado de 5 CARs, INCODER y SENA quienes han participado en el curso de capacitación anterior organizan el curso de capacitación in situ sobre manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales para la comunidad y productores locales de las áreas objeto

de cooperación con los concejos comunales y asociaciones de productores.

- (3)-6\*.CORPOAMAZONIA y otras entidades elaboran una guía técnica sobre manejo y uso sostenible de recursos forestales para comunidades y productores locales con base en el resultado del seminario técnico mencionado en la actividad (3)-4, alrededor de la ciudad Leticia, Departamento de Amazonas.
- (3)-7\*.Implementación de un proyecto piloto sobre el manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales en el sitio modelo alrededor de la ciudad Leticia, Departamento de Amazonas. De acuerdo con los resultados del proyecto piloto, CORPOAMAZONIA y otras entidades revisan el contenido de la guía mencionada en la actividad (3)-6.

*\*Nota: Las actividades mencionadas en (3)-6 y (3)-7 serán implementadas de acuerdo con la regulación de seguridad de JICA.*

- (4)-1.Las 5 CARs y INCODER en coordinación con el IDEAM acumulan la información sobre diversas actividades, resultados y lecciones relacionadas con el manejo y uso sostenible del bosque natural teniendo en cuenta los resultados de las actividades (1)-1 a (3)-7.
- (4)-2.MAVDT, MADR, INCODER, IDEAM, CONIF, ASOCAR y otras entidades relacionadas con el PNDF ordenan, analizan y evalúan la información mencionada en la actividad (4)-1.
- (4)-3.La Gerencia del PNDF en colaboración con las otras entidades relacionadas implementa actividades de relaciones públicas como la elaboración de folleto para la promoción de "Subprograma del Manejo y Aprovechamiento de bosques naturales del Programa de Desarrollo de Cadenas Forestales Productivas del PNDF " incluyendo varias informaciones y lecciones por el análisis mencionado en (4)-2 para las comunidades locales y productores.
- (4)-4.Realizar talleres y seminarios con el propósito de compartir información entre las organizaciones relacionadas con el PNDF, si es necesario

## ANEXO II

### 1. LISTA DE EXPERTOS

- 1) Al menos un experto japonés en el área de planeación de cursos de capacitación sobre el manejo de Bosques Naturales, será enviado
- 2) Otro experto(s) podrán ser despachados dependiendo de la necesidad

### 2. LISTA DE MAQUINARIA Y EQUIPO

Maquinaria, equipos, insumos y libros de texto necesarios para la implementación de las actividades descritas en el Plan Maestro

### 3. LISTA DE PERSONAL COLOMBIANO DE CONTRAPARTIDA Y PERSONAL ADMINISTRATIVO

- 1) Director del Proyecto  
Director de la Dirección de Desarrollo Rural Sostenible del DNP
- 2) Coordinador del Proyecto  
Sub-director de la Dirección de Desarrollo Rural Sostenible del DNP
- 3) Personal de contrapartida  
Funcionarios del DNP, PNDF, MAVDT, MADR, INCODER, IDEAM, CONIF, y ASOCAR
- 4) Personal administrativo
  - a. Administrador (Coordinador de capacitación)
  - b. Contador
  - c. Secretarias
  - d. Conductores
  - e. Personal de Vigilancia
  - f. Otro personal de soporte cuando sea requerido

### 4. LISTA DE OFICINAS, ESPACIO DE CAPACITACIÓN Y FACILIDADES

- 1) Espacio de oficina para el experto(s) Japonés en las instalaciones del DNP, Bogotá
- 2) Facilidades de capacitación en CONIF y otras instituciones posibles
- 3) Otras facilidades y equipos necesarios para la implementación del Proyecto

## ANEXO III COMITÉ COORDINADOR CONJUNTO

### 1. Funciones

El Comité Coordinador Conjunto deberá:

- 1) Discutir y decidir sobre las estrategias en el manejo y coordinación del Proyecto,
- 2) Revisar y aprobar en Plan Anual del Proyecto
- 3) Monitorear y evaluar el progreso del Proyecto, y
- 4) Tomar las decisiones relevantes sobre el manejo general del Proyecto

### 2. Composición

El Comité Coordinador Conjunto tendrá la siguiente composición:

- 1) Presidente  
Director de la Dirección de Desarrollo Rural Sostenible del DNP
- 2) Parte Colombiana
  - a. Director del Proyecto
  - b. Director del PNDF
  - c. Representante de ACCI
  - d. Representante de MAVDT
  - e. Representante de MADR
  - f. Representante de INCODER
  - g. Representante de IDEAM
  - h. Representante de CONIF
  - i. Representante de ASOCAR
  - j. Representantes de cada una de las 5 CARs
  - k. Representantes de las entidades nombradas por el Presidente
- 3) Parte Japonesa
  - a. Representante Residente de JICA Colombia
  - b. Experto(s) Japonés(es)

NOTA: Delegado(s) de la Embajada del Japón en Colombia podrá(n) asistir como observadores

## ANEXO IV ABREVIACIONES

- |                   |  |
|-------------------|--|
| 1. DNP            | Departamento Nacional de Planeación  |
| 2. PNDF           | Plan Nacional de Desarrollo Forestal   |
| 3. ACCI           | Agencia Colombiana de Cooperación Internacional  |
| 4. MAVDT          | Ministerio de Ambiente, Vivienda, Desarrollo Territorial   |
| 5. MADR           | Ministerio de Agricultura y Desarrollo Rural   |
| 6. INCODER        | Instituto Colombiano de Desarrollo Rural   |
| 7. IDEAM          | Instituto de Hidrología, Meteorología y Estudios Ambientales   |
| 8. CONIF          | Corporación Nacional de Investigación y Fomento Forestal   |
| 9. ASOCAR         | Asociación de Corporaciones Autónomas Regionales y de Desarrollo Sostenible y Autoridades Ambientales de grandes Centros urbanos |
| 10. CAR           | Corporaciones Autónomas Regionales y Corporaciones de Desarrollo Sostenible  |
| 11. CORPOAMAZONIA | Corporación para el Desarrollo Sostenible de Sur de la Amazonia Colombiana   |
| 12. CORPONARIÑO   | Corporación Autónoma Regional de Nariño  |
| 13. CRC           | Corporación Autónoma Regional del Cauca  |
| 14. CVC           | Corporación Autónoma Regional del Valle del Cauca  |
| 15. CODECHOCO     | Corporación Autónoma Regional para el Desarrollo Sostenible de Chocó   |
| 16. SENA          | Servicio Nacional de Aprendizaje   |

R

Jay

Nombre del proyecto: Proyecto de Manejo y Aprovechamiento de Bosques naturales en Colombia  
 Entidad Ejecutora: Dirección de Desarrollo Rural Sostenible, DNP, y otras entidades relacionadas Período del proyecto: O.O. 2005 a ●● 2010 Sitios del Proyecto: Bogotá D.C., Leticia del Departamento de Amazonas\*

Índicadores de verificación	Medios de verificación	Asuntos importantes que no suceden el PDF hasta el año 2025.
<p>Meta Superior</p> <p>La tecnología para el manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales se difundirá entre los productores y comunidades de la zona de bosques naturales, lo que se logrará a través de los cursos de capacitación del Manejo y Aprovechamiento Sostenible de Bosques Naturales del Plan Nacional de Desarrollo Forestal.</p> <p>La capacidad de las entidades relacionadas con el manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales y los productores objeto de incremento, se fortalecerá la habilidad para dar instrucciones técnicas a las comunidades y los productores locales.</p> <p>Objetivo del Proyecto:</p> <p>Resultado (1) El personal encargado del Plan de Ordenación Forestal en 5 Cooperaciones Autónomas Regionales mejorará su capacidad para identificar la situación de los recursos forestales y realizar monitoreo en las áreas objeto.</p> <p>Resultado (2) El personal encargado del Plan de Ordenación Forestal y del Plan de Manejo Forestal en cada una de 5 CMBs mejorará sus capacidades prácticas para evaluar los planes de manejo y dar instrucciones técnicas a las comunidades y productores locales.</p> <p>Resultado (3) Ingenieros forestales en 5 CMBs y los funcionarios de estación técnica de INCORER mejorará sus competencias, capacidad técnica y su experiencia práctica sobre el manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales en las áreas objeto.</p> <p>Resultado (4) Las entidades relacionadas con el Sub-programa "Manejo y Aprovechamiento Sostenible de Bosques Naturales del PDF" fortalecen sus actividades de recolectar y compartir información y relaciones públicas con el propósito de estrechar la relación cooperativa y servicios de extensión técnica para las comunidades y los productores locales.</p>	<p>Foro de extensión para las comunidades, productores, etc. (reuniones, talleres, etc.)</p> <p>Foro de seguimiento de la capacidad y los conocimientos de los productores, técnicos y funcionarios de CMBs, INCORER y de los cursos de capacitación.</p> <p>Monitoreo de la información contenida en la confiabilidad de la información sobre recursos forestales.</p> <p>Disponibilidad y grado de entendimiento de conocimientos técnicos adquiridos a través de la capacitación.</p> <p>Grado de entendimiento y aplicabilidad sobre técnicas, conceptos y sistemas de manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales.</p> <p>Situación de monitoreo de información (ejemplo: Evaluación por PDF)</p>	<p>Que el personal que recibió la capacitación no salga del área forestal correspondiente.</p>
<p>1-1) Realizar el curso de entrenamiento para el personal encargado de elaborar el Plan de Ordenación Forestal de 5 CMBs correspondientes, sobre la metodología para identificar y monitorear el volumen de recursos forestales.</p> <p>1-2) En 5 CMBs correspondientes, después del curso de entrenamiento del numeral 1-1, los participantes realizan la revisión del Plan de Ordenación Forestal y del Plan de Manejo Forestal cada una de las comunidades y productores, identificando los problemas.</p> <p>2-2) Realizar el curso de entrenamiento de actualización para la planificación, evaluación y seguimiento del "Plan de Ordenación Forestal" de las comunidades forestales y el personal encargado de 5 CMBs. INCORER y SEMA revisan sus actividades, e identificar los temas de capacitaciones relacionadas con las técnicas del manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales tales como: regeneración natural, entrecultivo y uso de los productos forestales.</p> <p>3-2) Establecer el curso de capacitación sobre técnicas de manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales para ingenieros forestales y otros encargados de CMBs, INCORER y SEMA.</p> <p>3-3) Realizar el curso de capacitación sobre las técnicas de manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales mencionado en la actividad 3-2 para ingenieros forestales y otros encargados de CMBs, INCORER y SEMA.</p> <p>3-4) Los ingenieros forestales y el personal encargado de CMBs, INCORER y SEMA quienes han participado en el curso de capacitación anterior organizan seminario técnico para dar instrucciones y intercambiarlas para los consejos comunitarios y asociaciones de productores, etc.</p> <p>3-5) Los ingenieros forestales y el personal encargado de CMBs, INCORER y SEMA quienes han participado en el curso de capacitación anterior elaboran una guía técnica sobre manejo y uso sostenible de recursos forestales para las comunidades y productores locales con base en el resultado del seminario técnico mencionado en la actividad 3-4, alrededor de la ciudad Leticia, Departamento de Amazonas.</p> <p>3-7) Implementación de un proyecto piloto sobre el manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales en el sitio modelo alrededor de la ciudad Leticia, Departamento de Amazonas, de acuerdo con los resultados del proyecto piloto, COPPOAMAZONIA y otras entidades revisan el contenido de la guía mencionada en la actividad 3-6.</p> <p>4-1) Las 5 CMBs y INCORER recopilan la información sobre diversas actividades, resultados y lecciones relacionadas con el manejo y uso sostenible del bosque natural (verbo en cuenta los resultados de las actividades 1-1 a 3-7).</p> <p>4-2) MEDIT, WDRB, INCORER, IDEAF, CONVIF, ASOCAR y otras entidades relacionadas con el PDF recopilan, analizan y evalúan la información sobre las actividades de capacitación con sus otras entidades relacionadas, incrementan actividades de relaciones públicas como la elaboración de folleto para la promoción de "Subprograma del Manejo y Aprovechamiento de Bosques Naturales del PDF", incluyendo varias informaciones y lecciones por el análisis mencionado en 4-2 para las comunidades locales y productores.</p> <p>4-4) Realizar talleres y seminarios con el propósito de compartir información entre las organizaciones relacionadas con el PDF, si es necesario.</p>	<p>Monitoreo de los participantes</p> <p>Monitoreo de las entidades relacionadas</p> <p>Reporte de "seminarios, etc."</p> <p>Evaluación por las entidades relacionadas del PDF por parte de PAB, etc.</p>	<p>que no suceden el PDF hasta el año 2025.</p>
<p>1) Parte japonesa</p> <p>Gastos de capacitación (instalaciones de capacitación en Japón y en el tercer país, materiales, y otros)</p> <p>Gastos de transporte para asistir en los cursos de capacitación fuera de Colombia (gastos aéreos, gastos diarios, etc.)</p> <p>Expertos de corto plazo</p> <p>Equipos para capacitación en Colombia</p> <p>Gastos para seminarios técnicos organizados por el espacio japonés</p>	<p>Monitoreo de los participantes</p> <p>Monitoreo de las entidades relacionadas</p> <p>Reporte de "seminarios, etc."</p> <p>Evaluación por las entidades relacionadas del PDF por parte de PAB, etc.</p>	<p>que no opere inicialmente la situación de orden público</p>
<p>Costo personal de la capacitación</p> <p>Monitoreo de instrucciones nacionales de Colombia</p> <p>Gasto de transporte nacional</p> <p>Gastos relacionados con la logística y viajes para salir del país (pasajes, visas, etc.)</p> <p>Costo de instalaciones de capacitación (ejemplo: gastos de servicios públicos, salud, etc.)</p>	<p>Monitoreo de los participantes</p> <p>Monitoreo de las entidades relacionadas</p> <p>Reporte de "seminarios, etc."</p> <p>Evaluación por las entidades relacionadas del PDF por parte de PAB, etc.</p>	<p>que no opere inicialmente la situación de orden público</p>

Nota: Las actividades mencionadas en 3-6 y 3-7 se están implementando de acuerdo con la resolución de seguridad de IICA.

Resultados	Actividades	Año 5												OIC	INPUTs(COL)	INPUTs(JPN)			
		1996			1997			1998			1999						2000		
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3			
1.1 El personal encargado del Plan de Ordenación Forestal en 5 Corporaciones Autónomas Regionales mejora su capacidad para identificar la situación de los recursos forestales y realizar monitoreo en las áreas objeto.	1.1 Realizar el curso de entrenamiento para el personal encargado de elaborar el Plan de Ordenación Forestal de 5 CARs correspondientes, sobre la metodología para identificar y monitorear el volumen de recursos forestales.	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	Proyecto (JICAD/NP/MAVDT/MADR/CON/IFIDEA/MASOCAR)	Domestic Relations Fees for Training in Japan and Training Fee in 3rd country. Personnel costs etc. N.C.	JICA Expert Fee for Training in Japan and Training Fee in 3rd country. N.C.
1.2 En 5 CARs correspondientes, después del curso de entrenamiento del numeral 1-1, los participantes realizan la revisión del volumen de registros forestales. Luego, realizar las actividades de monitoreo continuamente.	1.2 En 5 CARs correspondientes, después del curso de entrenamiento del numeral 1-1, los participantes realizan la revisión del volumen de registros forestales. Luego, realizar las actividades de monitoreo continuamente.	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	Proyecto (JICAD/NP/MAVDT/MADR/CON/IFIDEA/MASOCAR)	Domestic Relations Fees for Training in Japan and Training Fee in 3rd country. Personnel costs etc. N.C.	JICA Expert Fee for Training in Japan and Training Fee in 3rd country. N.C.
2 El personal encargado del Plan de Ordenación Forestal y del Plan de Manejo Forestal en cada una de 5 CARs mejora sus capacidades prácticas para evaluar los planes de manejo y dar instrucciones técnicas a las comunidades y productores locales.	2.1 El personal encargado del Plan de Ordenación Forestal y del Plan de Manejo Forestal en cada una de 5 CARs mejora sus capacidades prácticas para evaluar los planes de manejo y dar instrucciones técnicas a las comunidades y productores locales.	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	Proyecto (JICAD/NP/MAVDT/MADR/CON/IFIDEA/MASOCAR)	Domestic Relations Fees for Training in Japan and Training Fee in 3rd country. Personnel costs etc. N.C.	JICA Expert Fee for Training in Japan and Training Fee in 3rd country. N.C.
2.2 Realizar el curso de entrenamiento de metodología para la planificación, evaluación y seguimiento del "Plan de Ordenación Forestal" y del "Plan de Manejo Forestal" y otros temas, para el personal encargado de los planes en 5 CARs.	2.2 Realizar el curso de entrenamiento de metodología para la planificación, evaluación y seguimiento del "Plan de Ordenación Forestal" y del "Plan de Manejo Forestal" y otros temas, para el personal encargado de los planes en 5 CARs.	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	Proyecto (JICAD/NP/MAVDT/MADR/CON/IFIDEA/MASOCAR)	Domestic Relations Fees for Training in Japan and Training Fee in 3rd country. Personnel costs etc. N.C.	JICA Expert Fee for Training in Japan and Training Fee in 3rd country. N.C.
3 Ingenieros forestales en 5 CARs y los funcionarios de extensión técnica de INCODER mejoran sus conocimientos, capacidad técnica y su experiencia práctica sobre el manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales en las áreas objeto.	3.1 Los ingenieros forestales y el personal encargado de 5 CARs, INCODER y SEMA revisan sus actividades, e identificar los temas de capacitación relacionados con las técnicas del manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales tales como regeneración natural, enriquecimiento y uso de los productos forestales. 3.2 Establecer el curso de capacitación sobre técnicas del manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales para ingenieros forestales y otros encargados de CARs, INCODER y SEMA. 3.3 Realizar el curso de capacitación sobre las técnicas del manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales mencionado en la actividad 3.2 para ingenieros forestales y otros encargados de CARs, INCODER y SEMA. 3.4 Los ingenieros forestales y el personal encargado de CARs, INCODER y SEMA quienes han participado en el curso de capacitación anterior organizan seminario técnico para dar instrucciones e intercambiarlas para los consejos comunitarios forestales. 3.5 Los ingenieros forestales y el personal encargado de CARs, INCODER y SEMA quienes han participado en el curso de capacitación anterior organizan el curso de capacitación in situ sobre manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales para la comunidad y productores locales de las áreas objeto de cooperación con los concejos comunales y asociaciones de productores. 3.6 *CORPOAMAZONIA y otras entidades elaboran una guía técnica sobre manejo y uso sostenible de recursos forestales para comunidades y productores locales con base en el resultado del seminario técnico mencionado en la actividad 3-4, alrededor de la ciudad Leticia, Departamento de Amazonas. 3.7 *Implementación de un proyecto piloto sobre el manejo y aprovechamiento sostenible de bosques naturales en el sitio modelo alrededor de la ciudad Leticia, Departamento de Amazonas. De acuerdo con los resultados del proyecto piloto, CORPOAMAZONIA y otras entidades revisan el contenido de la guía mencionada en la actividad 3-6.	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	Proyecto (JICAD/NP/MAVDT/MADR/CON/IFIDEA/MASOCAR)	Domestic Relations Fees for Training in Japan and Training Fee in 3rd country. Personnel costs etc. N.C.	JICA Expert Fee for Training in Japan and Training Fee in 3rd country. N.C.
4 Las entidades relacionadas con el Sub-programa "Manejo Sostenible de Bosques Naturales del PNDP" fortalecen sus actividades de recolectar y compartir información y relaciones públicas con el propósito de estrechar la relación	4.1 La verificación del PNUF en colaboración con las otras entidades relacionadas implementa actividades de relaciones públicas como la elaboración de folleto para la promoción de "Subprograma del Manejo y Aprovechamiento de bosques naturales del PNDP" incluyendo varias informaciones y lecciones por el análisis mencionado en 4-2 para las comunidades. Incoderm, INCODER. 4.2 MAVDT, MADR, INCODER, IDEAM, CONF, ASOCAR y otras entidades relacionadas con el PNDP ordenan, analizan y evalúan la información mencionada en la actividad 4-1. 4.3 La verificación del PNUF en colaboración con las otras entidades relacionadas implementa actividades de relaciones públicas como la elaboración de folleto para la promoción de "Subprograma del Manejo y Aprovechamiento de bosques naturales del PNDP" incluyendo varias informaciones y lecciones por el análisis mencionado en 4-2 para las comunidades. Incoderm, INCODER. 4.4 Realizar talleres y seminarios con el propósito de compartir información entre las organizaciones relacionadas con el PNDP, si es necesario.	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	Proyecto (JICAD/NP/MAVDT/MADR/CON/IFIDEA/MASOCAR)	Domestic Relations Fees for Training in Japan and Training Fee in 3rd country. Personnel costs etc. N.C.	JICA Expert Fee for Training in Japan and Training Fee in 3rd country. N.C.